

<小難しい学芸員のやさしい小咄>

都市部でも見つかるスマレたち

早春、田んぼのあぜ道を彩るスマレ類に心が和む方も多いのではないのでしょうか？郊外の里山では、スマレ、タチツボスマレ、ニオイスマレ、ノジスマレなど多様なスマレが耕作地の脇やあぜ道などに群生しているのを見かけます。また、雑木林やスギ林などの林床ではシハイスミレ、ナガバナタチツボスマレなど、開けた環境とは異なるスマレに出会うこともできます。

里山ではちょっと散歩をすると、多くのスマレを見つけることができますが、コンクリートで囲まれた大阪市内でも、意外とあちこちでスマレの仲間を見つけることができます。あるものは墓地のお墓周りで、あるものは舗装道路の隙間からたくましく花を咲かせています。今回の小咄では、そのような都市部でも観察できるスマレの仲間を紹介したいと思います。

濃い紫色の花をつけるスマレ（16ページ図1A）は、山地から低地まで広く生育していますが、都市部でもアスファルトのすき間などで元気に育っているのをよく見かけます。アリアケスマレは、ほとんど白から、紫の筋が多く入った花まで変化に富んだ花をつけます（16ページ図1B）。里地でも畦などに群生しているのを見かけますが、都市部でも場所によってはコンクリートのすき間にずらっと群生しています。スマレとよく似た濃い紫の花をつけますが、一回り小さいヒメスマレ（16ページ図1C）も街中でよく見つかります。また、植物体に微毛があるノジスマレも見かけます。ノジスマレは花に芳香があるのも特徴です。これらの4種は大阪市内でもあちこちで見つけることができ、街中で見るのできるスマレの代表種といえそうです。他にもこの4種に比べると少ないですが、コスミレも時々見つかります。

一方で、タチツボスマレ、ナガバナタチツボスマ

レなども街中で見つかることもありますが、これらは今のところ大阪市内では分布が限られ、都市部で自ら分布を広げていくようなことは無いように思います。持ち込まれた土壤に種子が混入していたなどで、一時的に出現しているのではないのでしょうか。このほか、元々園芸のために持ち込まれたアメリカスマレサイシン、ニオイスマレ、ニシキスマレなどが逸出していることもあります。

意外と多様なスマレが、コンクリートで覆われた街中でも見つかるのですが、林床や、やや湿った場所を好む種、山地性の種は、街中ではほとんど見つかることはありません。あったとしても前述のように、持ち込まれた土壤に種子が含まれていて、一時的に生育しているようなものでしょう。それに対し、スマレ、アリアケスマレ、ノジスマレ、ヒメスマレ、コスミレのように、街中で分布を広げているスマレの特徴として、里山ではあぜ道など日当たりのよい草丈の低い草地でよく見かける種であり、比較的太い根茎を深く伸ばす種である、ということが言えそうです。太い根を深く張った方が、乾燥に比較的強く、コンクリートに覆われた都市部でも十分に生育できるのでしょう。また、このようなスマレは地上部がなくなっても地下部の根茎で生き残り、地上部を再生することが可能です。農地同様、草取りが頻繁にされる都市部でもこのような特徴がある方が生き残りやすいと考えられます。

もう本格的なスマレの季節です。里山に出かけて様々なスマレの花を楽しむのももちろん楽しいと思いますが、街中でたくましく生きているスマレたちにも目を向けていただけたらと思います。

<長谷川匡弘：博物館学芸員、市川顕彦：本会会員>

謝辞：松本吏樹郎学芸員にはアリアケスマレの分布情報をいただきました。文末ながら御礼申し上げます。



図1：街中でよく見かけるスマイレたち。A：スマイレ、B：アリアケスマイレ、C：ヒメスマイレ。いずれも大阪市内で撮影。(本文5ページ)